

小野島行次 さのしま ぎょうじ 梵語・梵文學者。明治二十五年十月二十八日埼玉縣大里郡熊谷町生れ、昭和二十年十一月七日歿（八二—一九五）。大正十一年東京帝國大學文學部梵文學科卒（卒業論文「カーリダーサの抒情詩」）。埼玉縣立熊谷中學校教諭を経て、十五年九州帝國大學法文學部助教授。梵詩「歳時集」、「雲の使」、「メーガ・ツータ」等の譯を九州文學會の機關誌『日本文學研究』に順次發表。また同誌第二十四輯（昭和二十年三月）に發表した「梵語奈留別誌」は、五六「梵語から來るなるべし」國語を採集解釋したもので、歿後へ故小野島助教追悼號となりた第二十六輯（昭和二十二年三月二十日）に遺稿「梵語奈留別誌（續）」を收載。

